

合法証明木材等に関する国際シンポジウム 2010
違法伐採問題に対処する日本の取組第三部報告

氏名: セミラン・リポット
講演タイトル: 木材のトラッキングシステム
報告概要: 日本の合法性証明木材供給の取組についての評価 最近のサラワク州における違法伐採対策の進展 <ul style="list-style-type: none">● 木材トラッキングシステム (LOTS) の全州展開 州政府がフォレストネット (ForestNet) を構築したことにより可能となった。フォレストネットは林業当局専用の広域ネットワーク (WAN) で、LOTS の実施と林業税の徴収に使用される。サラワク州全域の 44 カ所の現場を結び、2008 年 12 月に整備された。LOTS は 2009 年 1 月より、44 カ所のうち 26 カ所で 運用可能となった。● ハイパースペクトル (航空戦術) サラワク州は、マレーシア天然資源環境省の援助のもと、作戦用ハイパーセンシング設備を森林局に設置し、先進技術の利用を通じた事業に乗り出した。ILD ツールは、サラワク州における違法伐採監視の実施効率を改善する目的で開発された。現場で監視を実施する職員は、航空ハイパースペクトル画像から違法伐採が発見された地域の画像のデータセットを直接活用できるが、ILD はそれを補完する。● 省庁間の標準業務手順 (SOP) を 2010 年 1 月 1 日付で施行 その中で、政府内の 4 省庁が、森林関連法令・規制の実施について相補的役割を果たすことを委任された。省庁間 SOP によってワークフローが改善し、チェック・アンド・バランス機能が高まり、管轄の重複が解消された。● 他の実施省庁との合同作戦 昨年、警察局 (特に海上警察と陸上警察)、マレーシア反汚職委員会 (MACC)、保健局、および地方当局との合同作戦を強化している。2010 年はサラワク林業公社 (SFC) のみで合計 355 件のこうした合同作戦 (出動) が報告された。● 森林検査事務所の新規増設 2010~2014 年に実施される戦略的ロジスティック計画の一環を成すもので、サラワク州全域の戦略地域に少なくとも 20 カ所の森林検査事務所の新設が必要である。

グローバルな違法伐採問題の課題

プロフィール

氏名	セミラン・リポット
肩書き	コンプライアンス課長
所属	サラワク林業公社
略歴	<p><u>高等教育歴</u></p> <ul style="list-style-type: none">マレーシア農業大学（UPM）（サラワク）にて森林学ディプロママレーシア農業大学（UPM）（スルダン）にて森林学士 <p><u>職歴</u></p> <ul style="list-style-type: none">1990年 サラワク州森林局に上級森林監督官（G3）として入局。森林再生支部、社会基盤およびマッピング部門の部門長に任命される。1990～1998年 ニア森林検査事務所担当官に任命され、サラワク州北部地域における森林再生プロジェクトの実施全般を担当する。1998～2003年 プランテーション開発監視部門においてサラワク州森林局補佐副部長、サラワク州森林局森林再生支部において森林プランテーション部門の部門長に任命される。2003～2008年 サラワク州サラワク林業公社にて、土地利用管理部門、資源目録部門、木材供給および環境部門の次席部門長に任命される。2009年～現在 サラワク林業公社 SF&C 部門財政部長（SF&C 部門長直属。収納金徴収に関する手続きの策定と管理を担当。またサラワク州森林局の木材測定、木材トラッキングシステム（LOTS）、林業税課税システム（RBS）の管理も担当する）